

2つの重点区域を中心とした4つの取り組み

「尾道・向島歴史的風致地区」、「瀬戸田歴史的風致地区」の2つの重点区域で取り組んできたまちづくりの一例を紹介します。

1 歴史的建造物の保存・修理

重要文化財建造物の保存修理と防災工事を行っています。

浄土寺、西國寺、常称寺では、建造物の保存修理工事を行い、その後の公開活用が進められています。

また、浄土寺、西國寺、西郷寺で総合防災工事を行い、防災訓練等を含めて、文化財及び周辺の防災体制の整備に取り組みました。



2 市街地の環境・景観の保全・形成

通りや小路を情緒ある道に

良好な市街地環境の形成と、寺社等の歴史的建造物を回遊するネットワークの形成を目的に、通りの舗装と側溝の美装化を行っています。雰囲気をよくするだけでなく、フラットな路面で車いすやシニアカーでも行き来しやすく、また、水はけも良くなっています。



良好な街並みの形成

歴史的建物等の外観の修理・修景

建築後長期間年数が経過し、歴史的資料等のある建物や工作物の外観を修理・修景整備する場合に、経費の助成を行っています。

沿道建造物等修景

美装化された通りに面する建物や工作物の外観を修景整備する場合に、経費の助成を行っています。



空き家再生

空き家を改修して居住する場合に、経費の助成を行っています。

老朽危険建物除却

使用されず適正に管理されていない老朽危険建物を除却する場合に、経費の助成を行っています。

VOICE 地域のまちづくりに携わる方々にお話を伺いました。



浄土寺 住職
小林 暢善さん
(東久保町)

尾道の市街地は、焼き討ちや空襲を免れており、江戸時代からの街並みが守られています。その上に、鉄道の敷設や国道2号の開通など、様々な変化が積み重ねられ、今の特徴的なまちが形成されてきました。

今もまちなかには祠や社などが残り、また、多くのお祭りが継続して行われており、昔からあるものを守りたいという意識が現代にも培われていると思います。

平安時代に大田庄の倉敷地となり850余年、時代はどんどん変化しましたが、変わらない地元の人の支えがあり、尾道のまちの息吹が受け継がれていると感じます。これからも、伝えられてきた歴史的遺産を大切に守りながら、住んでいる人も、訪れる人も、心とまちなかになれば良いなと思います。



3 まちなかの回遊性の向上

ウォークアブルな空間の整備



「居心地が良く、歩きたくなるまちなか（ウォークアブルな空間）」の形成に向けて、道路や水路の修復、手すりの設置など、歩行環境の向上を図っています。

文化を様々な人へ伝える



「多言語総合案内板」や、寺院敷地内への「多国語音声設備」の設置など、外国人観光客を含めた来訪者に対して文化を伝える工夫をしています。

夜間にも楽しめる街に



レトロ街灯の整備や、歴史的建造物・通りのライトアップを行い、夜の尾道の観光や、地域に住む人にも夜道が歩きやすくなるようにしています。

4 調査と活動支援、普及啓発

地域の歴史や文化の体験

重点区域内にある文化財などを調査するとともに、歴史文化を体験する機会の創出や、情報提供を行っています。

市内の小・中学生を対象に、縄文土器づくり・勾玉づくり体験や文化財めぐりツアー、洋上セミナー等、「尾道市文化財愛護少年団事業」を実施し、子どもたちに地域の歴史文化の魅力を伝えています。

また、文化財講座や文化財めぐりを行ったり、歴史文化読本を作成し、日本遺産を含めた地域の歴史文化の普及を進めています。



▲市内の小・中学生を対象に、フェリーや高速船を使って近隣の文化財などを見学・体験する「洋上セミナー」



▲市内の歴史や仏像、建造物などの様々な文化財をテーマとした「文化財講座」

民俗芸能の担い手の確保・育成



神楽や太鼓踊り等、市内で行われている民俗芸能活動の保存団体への活動支援を行っています。



商店街の輪 会長
山口 広三さん
(瀬戸田町)

私が店を構えている「しおまち商店街」の周辺では、新しい宿泊施設や入浴施設が出来たり、瀬戸田港に寄港する新たな観光船が就航したりと、ここ数年は変化の多い時期でした。

同じ時期に、商店街に面する通りを石畳風に舗装する市の道路美化事業が行われ、まちの変化を後押ししてくれました。雰囲気だけでなく、実用性にも優れていて、商店街の人たちからも好評です。

近頃、「しおまち商店街、何かかわってきよーるな」というのが瀬戸田の人たちにも伝わってきていると感じています。これからも、お寺や港、レトロな商店街など、昔からあるものや雰囲気を大事にしつつ、地元の人にも愛され続けるように、まちを活性化していきたいです。

